



国民生活基礎調査【所得票】

(2019年7月11日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- ・ この調査票は、昨年1年間（2018（平成30）年1月1日～12月31日）に何らかの所得や税金、社会保険料、企業年金・個人年金等の掛金の支出があった方が1人1冊ずつ、記入してください。
（所得には、アルバイトによる所得や仕送り、年金も含まれます。）
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方が回答してください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。
- ・ 7月11日以降に調査員があらためておうかがいいたしますので、それまでに 枠の質問について記入してください。

所得や課税等の支出のあった方は、質問1から順に記入してください。

質問 1

あなたの性・出生年月を記入してください。

性・元号はあてはまる番号1つに○をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。

性	出生年月			
1 男	1 明治	3 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2 女	2 大正	4 平成	年	月

※ 所得については2ページから、課税等の支出については6ページから記入してください。
15ページの質問9は、世帯主又は世帯を代表する方が記入してください。

調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

昨年1年間に何らかの所得を受け取った場合は、2及び4ページの所得の種類ごとに、1年分の所得金額を万円単位で記入してください。
 所得のなかった方は、6ページへお進みください。

右ページの書類をお持ちの方は参考にしてください。

【金額記入の注意】

- 万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
 (1~4,999円は「0万円」、5,000~14,999円は「1万円」)
- 生命保険の受取金、退職金、不動産や株の売却代金、宝くじの当せん金などの一時的なものは含みません。

質問2

あなたは昨年1年間
 (2018(平成30)年
 1月~12月)に何らかの
 所得を受け取りましたか。

受け取った所得の種類ごとに
 金額を記入してください。

雇用者所得 01 万円
 億 千 百 十 一

事業所得 02 万円
 億 千 百 十 一

農耕・畜産
 所得 03 万円
 億 千 百 十 一

家内労働
 所得 04 万円
 億 千 百 十 一

財産所得 05 万円
 億 千 百 十 一

1年分の所得金額がわからないときは、1か月の収入の1.2倍にボーナス分を加えるなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

働いて得た所得

勤め先から受け取った給料、賃金、賞与(ボーナス)を合わせた税込み金額を記入してください。アルバイト等による所得も含まれます。

【参考書類】源泉徴収票 [原本又は写し]
 給与明細書
 確定申告書 [控]

事業(農耕・畜産以外)による収入(自家消費や贈与した分を含む。)から、仕入額、従業員に対する給与などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。漁業・林業による所得を含みます。

【参考書類】確定申告書 [控]

農業や畜産による収入(自家消費や贈与した分を含む。)から、肥料代、農薬代、家畜・家さんの購入費、雇い人の賃金などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

【参考書類】確定申告書 [控]

注文主からの委託を受けて、品物の製造や加工等(校正業務やワープロ入力などを含む。)を行って得た所得から必要な経費を差し引いた所得金額を記入してください。

財産による所得

家屋や土地を貸すことによって得た所得や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金(源泉分離課税分を含む。)の合計額を記入してください。家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。

【参考書類】確定申告書 [控]
 取引口座の通帳、配当金領収書など

給与所得者の方

⇒ 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票〔原本又は写し〕を参考にしてください。

平成 30 年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	(受給者番号)
		(役職名)
		氏名 (フリガナ)
		名
種別	支払金額	給与所得控除後の金額
	内 千 円	所得控除の額の合計額
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族(配偶者を除く。)
有 従有	千 円	特 定 老 人 内 人 従人 人 従人 人 従人
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
内 千 円	千 円	千 円
(摘要)		

支払金額		
内	千	円

『雇用者所得』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書〔控〕を参考にしてください。

税務署長 平成 30 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書 B

住所 氏名 個人番号

収入金額等	事業等	①						
	農業	②						
	不動産	③						
	利子	④						
	配当	⑤						
所得金額	給与	⑥						
	総合課税一時金	⑦						
	合計	⑧						
所得から差し引かれる金額	医療費控除	⑩						
	社会保険料控除	⑫						
	小規模企業共済等掛金控除	⑬						
	生命保険料控除	⑭						
	地震保険料控除	⑮						
	寄附金控除	⑯						
	寡婦・寡夫控除	⑰						
	勤労学生・障害者控除	⑱						
	配偶者特別控除	⑲						
	扶養控除	⑳						
	基礎控除	㉑						
	合計	㉒						

※ この様式は、申告書B 第一表です。

給 与	カ								
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--

『雇用者所得』欄へ記入
※ 申告書Aでは、給与カ欄になります。

事業等	①							
農業	②							
不動産	③							
利子	④							
配当	⑤							

- ・ 事業（営業等）① ⇒ 『事業所得』欄へ記入
 - ・ 事業（農業）② ⇒ 『農耕・畜産所得』欄へ記入
 - ・ 不動産③
 - ・ 利子④
 - ・ 配当⑤
- ⇒ 『財産所得』欄へ記入

※ 申告書Aでは、配当は③欄になります。

【注意】 源泉分離課税された「利子」「配当」のあった方は、源泉分離課税分を含めた「利子」等も『財産所得』欄に記入してください。

質問 2 (つづき)

公的年金・恩給

06

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

雇用保険

07

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

児童手当等

08

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

その他の
社会保障給付金

09

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

仕送り

10

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

企業年金

11

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

個人年金等

12

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

その他の所得

13

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

公的年金・恩給による所得

国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む。）、共済年金、福祉年金、恩給などからの受取額を記入してください。【参考書類】年金振込通知書など

1支払期（2か月）分しか受給額がわからないときは、その金額を6倍するなどして、1年分の金額を記入してください。

公的年金・恩給以外の 社会保障給付金による所得

雇用保険法の失業等給付の受取額（教育訓練給付、育児休業給付、介護休業給付を含む。）を記入してください。

【参考書類】雇用保険受給資格者証

児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金の受取額を記入してください。

生活保護法による扶助、医療保険による傷病手当金・出産手当金、労働者災害補償保険などその他法令に基づく支給金や高校生等奨学給付金などの支給金の受取額を記入してください。

仕送りによる所得

定期的又は継続的に送られてきた金品の額を記入してください。品物は、時価に換算した額を記入してください。

単身赴任者を送り出している世帯で、単身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、その金額をこちらの欄に記入してください。

企業年金・個人年金等による所得

確定給付企業年金、確定拠出年金（企業型）、中小企業退職金共済等からの受取額を記入してください。

一時金として受給した給付（退職一時金等）は含みません。

生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金及び年金型商品、国民年金基金、農業者年金などからの受取額を記入してください。

厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」に記入してください。

その他の所得

上記以外の冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金、臨時福祉給付金などの受取額を記入してください。

退職金、宝くじの当せん金などは含みません。

公的年金を受給している方

⇒ 年金振込通知書を参考にしてください。

年金振込通知書			
以下の金額を、ご指定の預貯金口座に振り込みます。 振り込みは平成 年 月から平成 年 月までの 振込みです。（「振込予定日」は、裏面をご覧ください）			
年金の制度・種類			
基礎年金番号	年金コード		
受給権者氏名			
振込先			
各支払期の支払額、年金から控除される額※1および控除後振込額			
	平成 年 月 月からの 各期支払額	平成 年 月 月の 支払額	平成 年 月 月の 支払額
年金支払額	円	円	円
介護保険料額※2	円	円	円
※2	円	円	円
所得税額および復興特別所得税額	円	円	円
個人住民税額※2	円	円	円
控除後振込額	円	円	円

※1 裏面の「年金から特別徴収する保険料等」をご覧ください。

年金支払額 円 円 円

『公的年金・恩給』欄へ記入

※ 2018（平成30）年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

雇用保険を受給している方

⇒ 雇用保険受給資格者証をお持ちの方は、それを参考にしてください。

2018（平成30）年1月1日～12月31日の間に、ア～エの「失業等給付」の支給を受けた方は、その金額の合計を『雇用保険』欄へ記入してください。

- ア 求職者給付（基本手当、技能習得手当、寄宿手当、傷病手当、高年齢求職者給付金、特例一時金、日雇労働求職者給付金）
- イ 就職促進給付（就業促進手当、移転費、広域求職活動費）
- ウ 教育訓練給付（一般教育訓練給付金、専門実践教育訓練給付金、教育訓練支援給付金）
- エ 雇用継続給付（高年齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付）

雇用保険受給資格者証

（第1面）

1. 支給番号			
3. 被保険者番号	4. 性別	5. 年齢	
	8. 住所		
	9. 支払方法		
10. 資格取得年月日	11. 資格喪失年月日		
13. 60歳到達時賃金日額	14. 離職日		
16. 求職申込年月日	17. 求職活動状況		
19. 基本手当日額	20. 所定給付日数	21. 通算被保険者期間	
22. 離職前事業所名			
23. 再就職手当支給歴	24. 特殊表示（災害時、一括、巡相、市町村）		

19. 基本手当日額

『雇用保険』欄へ記入

※ 雇用保険（求職者給付の基本手当の場合）
2018（平成30）年1月1日～12月31日の間に実際に受給された日数に、基本手当日額を掛けた金額を記入してください。

【金額記入の注意】

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
（1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」）

質問3

2018（平成30）年分の所得税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

所得税

					万		千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 不動産譲渡にかかる所得税は、除いてください。

【参考書類】

- * 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し]
- * 年金振込通知書
- * 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 [控]

【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

給与所得者の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

持っている方

源泉徴収票 [原本又は写し]

⇒ 参考資料①

確定申告書 [控]

⇒ 参考資料②

住民税の納税通知書

⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

給与所得者以外の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

持っている方

確定申告書 [控]

⇒ 参考資料②

住民税の納税通知書

⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

【注意】 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

参考資料①

給与所得者の方

⇒ 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

種別	内	支	払	金	額	給	付	控	除	額	の	合	計	額	源泉	徴	収	税	額
社会保険料等の金額																			

社会保険料等の金額		
内	千	円

『社会保険料の総額』欄へ記入

参考資料②

給与所得者の方

給与所得者以外の方

⇒ 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

住所	個人番号	フリガナ	氏名	性別	職業	生年	月	日
社会保険料控除 ⑫								

社会保険料控除 ⑫

『社会保険料の総額』欄へ記入
※ 申告書Aでは、⑥欄になります。

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

所得から差	雑損控除 ⑩	医療費控除 ⑪	社会保険料控除 ⑫	小規模企業共済等掛金控除 ⑬	生命保険料控除 ⑭	平均課税対象金額 ⑮
-------	--------	---------	-----------	----------------	-----------	------------

【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。

〔給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。〕

1年分を持っている方

⇒ 月々（ボーナス分を含む。）の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに2018（平成30）年1年分の金額を合計して記入してください。

1か月分は持っているが、1年分は持っていない方

10ページの『社会保険料の総額』を記入した方

⇒ 計算式A

10ページの『社会保険料の総額』を記入していない方

⇒ 計算式B

給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書（普通徴収）で納付された方

⇒ 納入（税）通知書又は各納付書から、国民健康保険料（税）、国民年金保険料、介護保険料の2018（平成30）年に納付した金額の合計を記入してください。

公的年金から天引き（特別徴収）で納付された方

⇒ 参考資料③
年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の2018（平成30）年に納付した金額の合計を計算してください。

- 【注意】
- ・ 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
 - ・ 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
 - ・ 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、14ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

参考資料③

給与所得者以外の方

年金振込通知書

以下の金額を、ご指定の預貯金口座に振り込みます。振り込みは平成 年 月 から平成 年 月 までの各偶数月に行われます。（「振込予定日」は、裏面をご覧ください）

年金の制度・種類		年金		
基礎年金番号	年金コード			
受給権者氏名				
振込先				
各支払期の支払額、年金から控除される額 ^{※1} および控除後振込額				
	平成 年 月 から平成 年 月 までの各期支払額	平成 年 月 の支払額	平成 年 月 の支払額	平成 年 月 の支払額
年金支払額		円	円	円
介護保険料額 ^{※2}		円	円	円
		円	円	円
所得税額および復興特別所得税額		円	円	円
個人住民税額 ^{※2}		円	円	円
控除後振込額		円	円	円

介護保険料額 ^{※2}	円	円	円
	円	円	円

以下のいずれかが印字
「国保保険料（税）額」
「後期高齢者医療保険料額」
「*****」

- ・ 介護保険料額
⇒ 『介護保険』欄へ記入
- ・ 国保保険料（税）額 又は 後期高齢者医療保険料額
⇒ 『医療保険(短期掛金)』欄へ記入

※ 2018（平成30）年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

① 給与明細書から転記

(1) 1か月分の医療保険料 (短期掛金)	[] 円	×	(6) []	=	医療保険 (短期掛金) 02	[] 円
(2) 1か月分の年金保険料 (長期掛金)	[] 円	×	(6) []	=	年金保険 (長期掛金) 03	[] 円
(3) 1か月分の介護保険料	[] 円	×	(6) []	=	介護保険 04	[] 円
(4) 1か月分の雇用保険料	[] 円	×	(6) []	=	雇用保険 05	[] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

② (5) 『社会保険料の総額』 ※10ページに記入した額と同じ金額

社会保険料の総額 01 [] 千円 ÷ (1)~(4)を合計し、千円未満は四捨五入 [] 千円 = (6) [] 小数点第2位を四捨五入

計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

① 給与の月数 [] 回 + ボーナス月数 [] 回 = (1) [] 小数点第2位を四捨五入
(1年分のボーナスが給与の何か月に相当するか)

② 給与明細書から転記

(2) 1か月分の医療保険料 (短期掛金)	[] 円	×	(1) []	=	医療保険 (短期掛金) 02	[] 円
(3) 1か月分の年金保険料 (長期掛金)	[] 円	×	(1) []	=	年金保険 (長期掛金) 03	[] 円
(4) 1か月分の介護保険料	[] 円	×	(1) []	=	介護保険 04	[] 円
(5) 1か月分の雇用保険料	[] 円	×	(1) []	=	雇用保険 05	[] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

③ 計算した『02 医療保険 (短期掛金)』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入

社会保険料の総額 01 [] 千円 ※ 10ページの『01 社会保険料の総額』欄へ忘れずに記入してください。

質問6

2018（平成30）年度の固定資産税・都市計画税や自動車税等（自動車税、軽自動車税、自動車重量税）の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

固定資産税
都市計画税

1 課税あり

2 課税なし

千円単位の記入欄

千 百 十 一

自動車税等

1 課税あり

2 課税なし

千円単位の記入欄

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。（1～499円は「0千円」、500～1,499円は「1千円」）

※ 事業用に支払っている税額は、除いてください。
名義人が否かにかかわらず、実際に支払った方が記入してください。

【参考書類】 2018（平成30）年度 固定資産税・都市計画税納税通知書
2018（平成30）年度 自動車税納税通知書、車検時の納品請求書等

質問7

2018（平成30）年分の企業年金や個人年金等の掛金を支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

企業年金

1 支払いあり

2 支払いなし

千円単位の記入欄

千 百 十 一

個人年金等

1 支払いあり

2 支払いなし

千円単位の記入欄

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。（1～499円は「0千円」、500～1,499円は「1千円」）

※ 掛金は、実際に支払った方が記入してください。
【企業年金の例】 確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの本人拠出分
【個人年金の例】 生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品
【その他】 国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）

質問 8

あなたは昨年 1 年間（2018（平成30）年1月～12月）に仕送りをしましたか。

定期的又は継続的に送った 1 年間の金品の額を記入してください。
品物は、時価に換算した額を記入してください。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 仕送りをした

仕送りした金額

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
(1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」)

2 仕送りをしていない

※ 単身赴任者を送り出している世帯が、あなた（単身赴任者）の口座から生活費等としてその金額を引き出している場合も「1 仕送りをした」となります。

世帯主 又は 世帯を代表する方 は

引きつづき下の 質問 9 にもお答えください。

質問 9

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 大変苦しい

2 やや苦しい

3 普通

4 ややゆとりがある

5 大変ゆとりがある

ご記入ありがとうございました。

SAMPLE